

令和7年度 第2回市長タウンミーティング概要

と き：令和7年4月12日（土）

午後2時30分～4時

ところ：西公民館

参加者：87人

○市長あいさつ

（市長より、令和7年度の施策・予算についての説明が行われました。）

○意見交換

質問（市民）

胃カメラによる胃がん検診の定員を750人から1000人に拡大するようですが、最近では市内で胃カメラができる病院が減ってきてしまい、受けられるか心配です。近隣市でも受けられる仕組みはありますか。

回答（市長）

胃カメラによる胃がん検診は、蕨市内と戸田市内の病院でも受診できる制度になっています。今回の定員の拡大については、蕨戸田市医師会と協議し、1000人なら受け入れ可能とのことから拡大したものですので、ご安心ください。

（保健センターより 胃カメラによる胃がん検診は、蕨市内と戸田市内、合わせて16の医療機関で実施の予定です。）

質問（市民）

障害者の入所施設を作ってほしいです。財政面で大変だとは思いますが、障害者もこのまちで一緒に暮らせるようなまちづくりをお願いしたいです。

回答（市長）

私も施設の必要性については重々承知していて、毎年、当事者の皆さんから直接ご意見を聞かせていただいています。保護者の方に何かあった時の不安や、施設に入れなかったり、入れても遠かったりする事情があり、できれば市内や近隣市に施設をつくってほしいという要望を受けて、近隣の社会福祉法人とも協議

を重ねています。施設整備には、広く静かで周りのかたの理解が得られる場所であることが重要なので、市街化調整区域で整備されることが多いですが、市内は広い土地が残っておらず、非常に地価が高いという状況もあり、難しい状況にあります。今後も近隣市との連携や、法人の方でもどういう条件なら可能なのか協議を続けてまいりますので、引き続き頑張っていきたいと思っています。

質問(市民)

防災について2点質問します。1点目は水害などで避難指示がでた際に、自宅にとどまり、高い階に避難することがあると思います。その際に食料などの生活支援はあるのでしょうか。2点目は、地震の時に老朽化した電柱が倒れてこないか心配なのですが、これは東京電力に伝えた方がいいのか、市で対策をしているのか、教えてください。

回答(市長)

ゲリラ豪雨などの内水害については、避難指示が出るような状況にはならないと思われませんが、荒川の氾濫時を想定した洪水ハザードマップを御覧いただくと、自宅の高い階へ避難する垂直避難も有効であると呼びかけています。その際の食糧をはじめとした在宅避難者への支援も重要な課題だと思っていますので、必要な支援に向けて努力していきます。

また、電柱については、東京電力の所管ですが、市では東京電力と協定を結んでおり、災害時に電柱の倒壊などがあった場合、早期復旧に向けて連携できる体制になっています。東京電力からは倒壊しないような対策がしてあることと、万が一倒壊した際にも迅速に復旧すると聞いています。ご意見のような心配の声があったということについては、東京電力に伝え、返事をもらいたいと思います。

(安全安心課より 災害発生直後は支援物資が届くまで時間を要する場合もあるため、市民の皆さんには、食料品や水、トイレ処理セットなど最低3日分、できれば1週間分の備蓄をお願いしたいと思います。)

(東京電力より 電柱は、風雨等で倒壊しないよう材料や強度が定められています(地震の影響は風雨より小さいことが官公庁の検討会で判明)。全ての電柱について5年に1回点検を行うとともに、ひびが入るなどしている電柱は1年に1回点検を行い、状況に応じて建て替えをしています。古い設備から順次建て替え、点検の結果を踏まえて優先順位をつけて対応をしています。老朽化で危険と感じた場合は、東京電力の顧客センターにお問い合わせください。)

質問(市民)

区画整理事業について、錦町地区と下蔵地区の区画整理事業が合わせて年間90棟の家屋移転が行われていた時代には、下蔵が終われば錦町は約20年間でできると説明を受けたと記憶しています。東日本大震災などにより、国の補助が少なくなり、遅れていることは承知していますが、現在の年間30棟では、あと25年くらいかかる計算になるかと思います。年間5棟でも10棟でも増やしてもらえませんか。

回答(市長)

錦町区画整理については、私もなるべく早く進めたいと考えています。そのためには、何より財源確保が重要ですが、当時は財源としてボートレース戸田から毎年15億円、21億円など収入があったものが、現在では3億円ほどになっており、大変厳しい状況となっています。下蔵地区の区画整理が終わった後、錦町地区と並行して中央第一地区の区画整理事業を進めようという話がありましたが、それでは両方とも進まなくなってしまうことから、中央第一地区については、区画整理から地区計画によるまちづくりに転換したところです。それ以降、予算は必ず減らさないように進めており、今約70%まで事業が進んできました。また、国の補助金も少なくなっている状況ですが、年度当初だけでなく、補正予算でも財源を確保するなど、最大限努力して進めていきたいと考えています。

質問(市民)

リチウムイオン電池が川口市のごみ処理施設の火災の原因だと知りませんでした。乾電池は公民館に捨てに行っていますが、充電式の製品については、燃えないごみの日に出していて、今までリチウムイオン電池のことは意識していませんでした。リチウムイオン電池が火災の原因になってしまうことを町会回覧板で流すなど、もっと周知を図ってほしいです。

回答(市長)

最近は電子タバコや携帯式扇風機などの充電式の製品が増えてきています。そういったものは「消火器・バッテリー」の区分として捨てていただくのですが、今後更に分別について啓発してまいります。今年度は「ごみの分け方・持ち出し方」の案内を新しくし、全戸配布しますが、今まで強調して記載してきたスプレー缶の捨て方に加え、リチウムイオン電池やその内蔵製品についても強調して記載したいと思います。ごみ処理施設は一度火災が起こると、再稼働までに長期

間を要しますので、繰り返しとなりますが、啓発を充実・強化していきます。

質問(市民)

市立病院の建て替えについて、令和8年度に実施設計を策定するとありますが、近隣の住民の声を聴いてもらえる機会がありますか。エントランスの位置などプライバシーに配慮してもらえるかお伺いします。

回答(市長)

現在基本構想・計画が策定されており、施設整備の基本的な考え方の一つとして近隣環境への配慮を掲げています。令和8年度に策定する実施設計は、今年度策定する基本設計をもとに詳細を図面にする段階なので、ご意見はこの基本設計の段階でいただければと思います。基本設計については最終案の段階でパブリック・コメントを行います。できれば早い段階で担当への相談や市長への手紙などでご意見をくださいますようお願いいたします。

(終了後、市立病院の担当より具体的にご意見の内容をお伺いしました。)

質問(市民)

西公民館と松原会館が移転し複合施設になると、松原会館で活動している縫製クラブの活動場所がなくなると聞きました。友人が活動しているので、市長の耳に入れておきたく、発言しました。

回答(市長)

西公民館と松原会館の複合施設については、基本的に今まで活動している団体さんの活動場所については確保できるようになっており、より充実していくようにという主旨で進めていますが、後ほど担当から具体的にお話をお伺いさせていただきます。

(終了後、西公民館、松原会館を所管する職員よりお話をお伺いし、ボランティア活動を担当する社会福祉協議会へご意見をお伝えしました。)

※ご質問いただきました内容に関して、担当課の確認など、その場でお答えできなかった内容を、加筆・修正して公開しています。